

第19回定時株主総会決議ご通知

当社第19回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- 第19期（2014年5月1日から2015年4月30日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第19期（2014年5月1日から2015年4月30日まで）計算書類報告の件
本件は、上記1.及び2.の内容を報告いたしました。

決議事項 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、1株につき6円80銭の期末配当を実施することに決定いたしました。

第2号議案 取締役5名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、小方功、今野 智、石井俊之の3氏が再選され、新たに羽山 純、多喜田二郎の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、藤本忠久氏が選任されました。
なお、藤本忠久氏は、補欠の社外監査役であります。

以上

配当金のお支払いについて

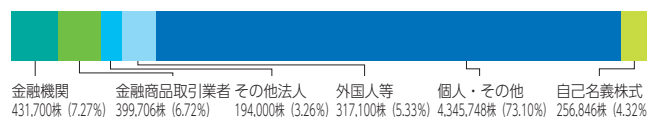
第19期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡しの期間内（**2015年7月27日から2015年8月31日まで**）に最寄りのゆうちょ銀行本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受取りください。
また、金融機関振込をご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、ご確認ください。

会社概要 （2015年4月30日現在）

社名 株式会社ラクーン
(英語名: RACCOON CO.,LTD.)
本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-14
大阪支社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-11-28 Daiwa南船場ビル 4階
創業 1993年9月
設立 1995年9月（法人登記）
株式 東京証券取引所マザーズ上場（証券コード3031）
従業員数 112名 うち社員101名（2015年4月30日現在）

株式の状況

●発行可能株式総数 12,470,400株
●発行済株式総数 5,945,100株
●株主数 2,018名



株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会 毎年7月
基準日 定時株主総会 4月30日
期末配当金 4月30日
中間配当金 10月31日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-232-711（通話料無料）

株式の売買単位 100株
公告方法 電子公告により当社ホームページ（<http://www.raccoon.ne.jp/>）に掲載いたします。但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ra((oon

raccoon report

第19回
定時株主総会決議ご通知

2014年5月1日～2015年4月30日



証券コード: 3031

株主の皆様へ



代表取締役社長
小方 功

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援及び格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2015年4月期の「raccoon report」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2015年4月期は、EC事業、Paid事業、売掛債権保証事業の3事業ともに順調に成長いたしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

さて、スーパーデリバリーは越境ECとなる輸出販売サービス「SD export」のスタートを2015年8月25日に予定しています。スーパーデリバリーでは数年ほど前より海外からの問合せが増えてきたため、国内に受取拠点のある企業に限り販売を行ってまいりました。日本製の商品や、日本で企画された商品は人気が高く、予約がある中でも流通額は増加し続けています。

円安、オリンピック、外国人観光客の増加など、日本製品に対する海外での需要は日に日に高まっているのは見逃せないことでもあり、商機でもあります。また、多方面により海外では大変な日本製品ブームである旨を耳にします。一方で、スーパーデリバリーの出展企業には海外からも購入希望のオファーが殺到しているようですが、ノウハウやマンパワーが足りず見送っているという話も聞いております。

「SD export」は、企業が国内の小売店に対して販売するのほとんど変わらない作業で海外の小売店に販売出来るサービスです。また、出展企業、海外の小売店、当社がwin-win-winの関係を築けるサービスです。

海外販売は莫大なマーケットの規模を有することから、スーパーデリバリーの成長率向上に「SD export」が貢献していくことを期待し、取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年7月

業績ハイライト

連結業績

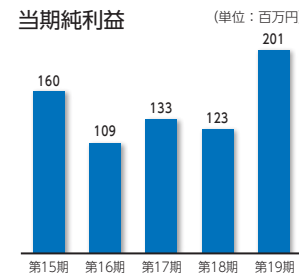
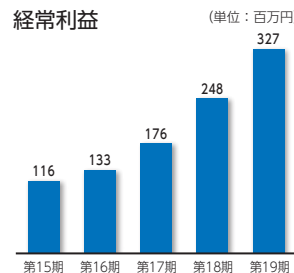
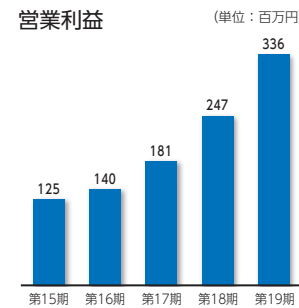
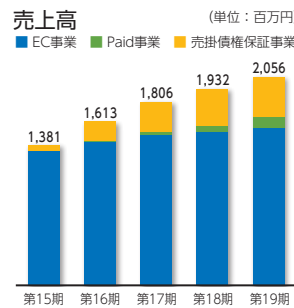
POINT

- 会計方針を変更し、EC事業のスーパーデリバリーの流通に係る売上高の表示方法を総額表示から純額表示へ
- 一時的な費用の発生がいくつかありましたが、増益効果でカバー
 - ・ Paid事業の売掛債権流動化に伴う債権流動化費用（10,730千円）を営業外費用に計上
 - ・ 大阪支社移転に伴う移転費用（5,008千円）を特別損失に計上
 - ・ 繰越欠損金の解消により税負担が増加

売上高 2,056,268千円 (+ 6.4%)

経常利益 327,626千円 (+31.8%)

当期純利益 201,659千円 (+63.4%)



※第19期より、会計方針の変更により、売上高の表示方法を総額表示から純額表示へ変更いたしましたので、第18期以前の数値につきましても、遡及修正値で表示しております。

セグメント別の概況

EC事業

売上高 1,547,894千円 (+ 2.6%)
セグメント利益 233,672千円 (+39.4%)

【スーパーデリバリー】

- ・ 営業体制の変更による効果で新規出展企業を堅調に獲得
- ・ 出展企業向けの商品管理画面のリニューアル、「Squareレジ」とシステム連携を実施
- ・ コスト構造の見直しにより、利益率向上

【COREC】

- ・ 2014年9月から有料プランの課金スタート
- ・ ビジネスの初期段階であることから知名度向上とユーザー数の増加に注力
- ・ 「Yahoo!ショッピング」、「Squareレジ」とシステム連携を実施

Paid事業

売上高 269,578千円 (+29.8%)
セグメント損失 16,641千円
(前期セグメント損失 37,832千円)

- ・ 加盟企業の規模感が広がり、中小企業だけではなく大企業の獲得も増加
- ・ 取扱高が順調に増加し、セグメント損失は大幅に減少
- ・ 売掛債権の流動化を実施
- ・ これまで以上に多種多様な業種の加盟企業を積極的に獲得できる体制へ

売掛債権保証事業

売上高 568,454千円 (+13.3%)
セグメント利益 73,841千円 (+ 2.9%)

- ・ サービスプラン改定による保証残高の増加
- ・ 前期4月より開始の事業用家賃保証サービスの保証残高が堅調に推移
- ・ 第19期第4四半期で多額の保証履行が発生
- ・ 一時的に売上原価が増加し、セグメント利益の増加率が減少